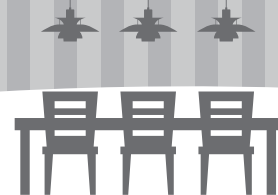


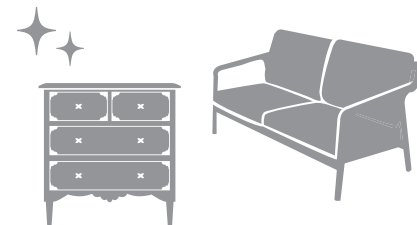
家具のメンテナンス



日頃のお手入れについて

お手入れは**から拭き**または、**固く絞った布巾**で拭いてください。
水分をたっぷり含んだ布巾でお手入れをし続けると、木肌がかさかさになってしまいます。
また、拭く際には、**全体をまんべんなく拭く**ように心掛けてください。
一定の範囲だけを集中して拭き続けると、その場所だけ色味やツヤの様子が変わってしまいます。

※中性洗剤や市販の家具クリーナーなどは、ご使用にならないでください。



丸忠家具使用のオイルでのメンテナンスについて

年に**2、3回ほどメンテナンス用のオイル**で手入れしてあげてください。
お手入れの方法は、木綿などの布にオイルを少量染み込ませムラにならないように木目に沿って軽く塗り込んでいただくだけです。
※この際使用した布は水に浸してから捨ててください。これにより撥水効果も増します。家具もしっかりと輝きを増し、気持ちよさそうにしますよ。
お手入れの時期は表面のツヤが無くなってきたと感じたら行ってください。
※人で言うとハンドクリームのようなものですので、年に2、3回でなくても、もっと頻繁にお手入れしていただいても構いませんよ。

木の家具との付き合い方と注意点

■ 植物性のオイルで仕上げをした木の家具は、製品になっても空気中の水分を吸ったり排出したりして呼吸していますので、**季節や環境によって伸びたり縮んだりします。**

お届けして、その家の環境になれるまで少し時間がかかることもあります。
例えば無垢の木でできた引き出しの場合、お部屋の温度や湿度によって生じる微妙な寸法変化(木の動き)が原因で、引き出しの開閉に不具合が生じる可能性があります。(特に梅雨時期など)
そのようなことにならぬよう最善を尽くしておりますが、万が一開け閉めがスムーズでなくなった場合は、引き出しを完全に引き抜き、風通しの良い場所に放置してください。(その際、暖房器具の前や直射日光のあたる場所は避けてください)

数日から一週間ほど後に所定の位置に差し込み様子を見て頂き、まだスムーズに開閉できないようであれば、お手数ですがご一報ください。

■ **熱いものを直接置かないでください。**

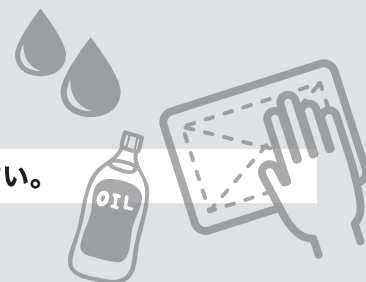
高温の鍋やヤカンなどは、鍋敷きやコースターを敷いてください。

■ **水分はすぐに拭き取ってください。**

すぐに拭き取ればシミにはなりません。
ソースや醤油なども、すぐに拭き取ればシミになることはありませんので、何かをこぼした場合は、できるだけ速やかに拭き取ってください。

■ **油をこぼしたり、油が飛んだ場合は、乾いた布で速やかに拭き取ってください。**

その際、油分をできるだけ広範囲に塗り拡げるようにして下さい。
中性洗剤や市販の家具クリーナーなどは、ご使用にならないでください。



このように、いくつか注意していただく点がありますが、
『家具をメンテナンスし、一生使い込む』という感覚で未永く、ご愛用いただけることを願っております。